

みんなの学校上映会 in 今金

10月18日、認定こども園いまかねで「みんなの学校上映会 in 今金」が開催され、約60名が参加しました。映画「みんなの学校」は、大阪市立大空小学校の不登校ゼロを目指した取組を1年間にわたって追った教育ドキュメントで、特別支援が必要な児童や他の学校で不登校になった児童も全員同じ教室で学びながら成長していく姿が映されています。

すべての子どもに居場所がある学校を作りたいという理念のもと、教職員や保護者、地域ボランティア等多くの大人が見守る体制作りなどが紹介されており、地域ぐるみでの子育てや教育のあり方を考える機会となりました。



認知症等高齢者SOS検索模擬訓練

10月16日、町民センター及び周辺の地区において、町と民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会の共催で認知症高齢者等SOSネットワーク事業「検索模擬訓練」が行われました。

訓練には、町内の介護・福祉関係機関や認知症家族介護者の会あたがいさまの会員など、67名が参加しました。検索模擬訓練後のグループワークでは、全国的に自治体などで使わない動きが広がっている「徘徊」ということばの言い換えについて、今金ならではの言語を考える意見交換も行われました。



今金町防災を考えるつどい・避難訓練

10月21日、今金小学校で「今金町防災を考えるつどい・避難訓練」が開催されました。今年度の避難訓練は曙町、東町、日の出町、光台の4町内会・自治会の方々を対象に行われ、防災を考えるつどいを合わせて約110名が参加しました。

防災を考えるつどいでは、今金河川事務所の秋山所長によるコミュニティタイムラインに関する講演や、胆振東部地震の被災地に派遣された職員の報告が行われました。また、今金町赤十字奉仕団・今金女性会・陸上自衛隊第28普通科連隊による炊き出しの提供もあり、防災への意識を高める1日となりました。



今金中学校吹奏楽部定期演奏会

10月21日、町民センターにおいて「今金中学校吹奏楽部定期演奏会」が開催されました。180名を超える観客を集めた演奏会は3部構成で行われ、第1部は吹奏楽の定番曲などを集めた「クラシックステージ」、第2部は「IMAKANE ポップステージ」と題して、ちびまるこちゃんなどのアニメコレクション、東京スカパラダイスオーケストラの「Paradise Has No Border」が演奏されました。

第3部では檜山北高、北檜山中との合同演奏も行われ、一体感のあるメロディーで観客を惹きつけました。演奏会の途中には、在校生から引退する3年生へサプライズでお礼の言葉と花を贈る一幕もあり、感激に涙を流す生徒もいました。



今月の特集

行政情報

各種情報

情報かわら版

まちの話題

まちな行専定

学びの道標へ

北渡島・檜山北部4町広域連携 口蹄疫防疫演習

11月2日、神丘構造改善センターで「北渡島・檜山北部4町広域連携 口蹄疫防疫演習」が行われ、4町の職員のほか農協、農業共済、家畜保健衛生所など関係機関から43名が参加しました。口蹄疫とは、牛や豚などの家畜にウイルス感染する病気のことです。午前中には、渡島・檜山両家畜保健衛生所の職員による防疫に関する講義がありました。午後からは、せたな警察署による安全な車両誘導方法の講義や、北海道ベストコントロール協会による消毒作業デモンストレーションが実施された後、4つの班に分かれて防疫作業の体験が行われました。



さっぽろ今金会ふるさと交流会

10月27日、ポールスター札幌において「さっぽろ今金会ふるさと交流会」が開催され、町内外合わせておよそ60名の方が参加しました。

平成21年度以来9年ぶりに大規模なふるさと交流会が開催され、当日はふるさと応援大使の松井克師さんにもお越しいただきました。

平成28年度から会長を務める関口会長をはじめ、世代交代した新役員が中心となり企画された交流会は盛会に行われました。

今後もふるさと今金町の応援団として、様々な事業に協力していただきたいと思います。



第3期どうなん王将戦

11月11日、町民センターにおいて、「第3期どうなん王将戦」が開催されました。地元実行委員会（谷馨一郎委員長）の主催で3回目を迎えた今大会は、近隣町をはじめ江差町、函館市や札幌市等から計28名の愛好者が参加し、腕を競い合いました。

入賞者には、景品として地元特産品「今金男しゃく」等が贈呈され、喜ばれました。地元からは小野寺徹さんがB級で4位に食い込む健闘を見せました。また、日本将棋連盟所属のプロ棋士で札幌市出身の金沢孝史五段による指導対局も行われ、子どもから大人まで熱心に指導を受けていました。



第40回今金支部兼近隣空手道選手権大会

11月11日、総合体育館で「第40回今金支部兼近隣空手道選手権大会」が開催されました。今大会では、幼児から一般まで計75名の参加があり、形の演舞や組手の試合など、日頃の稽古の成果を競い合いました。

開会式では、今金町空手道連盟の伊藤弘樹会長より「正々堂々と競い、試合の勝ち負けだけを気にすることなく、同じ志を持つ選手との交流を深め、心に残る大会にしてもらいたい」とあいさつがあり、参加者は真剣な面持ちで耳を傾けていました。

大会の結果、同連盟に所属する選手8名が個人の部で上位入賞を果たしました。

